



関係法令

省 令

○地方公務員等共済組合法施行令の一部を改正する政令（258） 7・14
（注）外国の地方公共団体の機関等に派遣される一般職の地方公務員の処遇等に関する法律の規定により派遣される地方公務員を，地方公務員等共済組合法の適用を受ける職員とすることとした。

の一部を改正する人事院規則（人事院9-17-14） 7・1
○人事院規則9-49（調整手当）の一部を改正する人事院規則（人事院9-49-3） 7・1
○人事院規則9-55（特地勤務手当等）の一部を改正する人事院規則（人事院9-55-7） 7・1

規 則

○人事院規則9-17（俸給の特別調整額）

告 示

○郵便法等の規定に基づき郵便番号を定める件の一部を改正する件（郵政529） 7・11

学 内 規 則

富山大学国際交流委員会規則の一部改正

富山大学国際交流委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和62年 7 月17日

富山大学長 大井 信一

富山大学国際交流委員会規則の一部を改正する規則

富山大学国際交流委員会規則（昭和59年 2 月17日制定）の一部を次のように改正する。

第3条第1項第3号中「各1名」を「各2名」に改める。

第8条を第10条とし，第7条中「庶務部長」の次に「，経理部長」を加え，同条を第9条とする。

第6条中「聞く」を「聴く」に改め，同条を第7条とする。

第7条の次に次の1条を加える。

（部 会）

第8条 委員会に学術交流部会及び留学生部会を置く。

2 学術交流部会は，学術の国際交流について調査審

議する。

3 留学生部会は，学生の外国留学及び外国人留学生の受入れについて調査審議する。

4 前2項の部会に関し必要な事項は，別に定める。第5条の次に次の1条を加える。

（議 事）

第6条 委員会は，委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は，出席委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

附 則

1 この規則は，昭和62年 7 月17日から施行する。

2 この規則施行により，昭和62年 9 月18日付けで委嘱される委員の任期は，第4条の規定にかかわらず昭和63年 3 月15日までとする。

▶ 富山大学国際交流委員会規則の改正理由

富山大学国際交流委員会に学術交流部会及び留学生部会を置き，本学における国際交流を積極的に推進するため，所要事項を改める。

諸 会 議

昭和62年第 4 回公開講座委員会 (7月3日)

(議 題)

- (1) 昭和62年度公開講座の実施について

昭和62年度第 3 回事務協議会 (7月3日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について

第61回構内交通対策委員会 (7月10日)

(議 題)

- (1) 富山大学構内交通規制に関する暫定要項等の改正(案)について

昭和62年度第 2 回大学院委員会 (7月10日)

(審議事項)

- (1) 総合大学院構想について

第 4 回総合大学院検討委員会 (7月10日)

(議 題)

- (1) 総合大学院構想について

昭和62年度第 3 回富山大学トリチウム科学センター運営委員会 (7月10日)

(審議事項)

- (1) 昭和61年度運営費決算書(案)について
- (2) 昭和62年度運営費予算書(案)について

第 3 回富山大学情報処理センター運営委員会 (7月14日)

(審議事項)

- (1) 昭和62年度予算(案)について

昭和62年度第 4 回入学試験管理委員会・第 3 回入学者選抜方法研究委員会の合同委員会 (7月14日)

(審議事項)

- (1) 昭和63年度入学試験問題作成委員について
- (2) 昭和63年度富山大学入学者選抜に関する要項について

(3) 昭和63年度富山大学学生募集要項(案)について

(4) 入学者選抜方法の改善に伴う昭和62年度以降の調査研究事項について

第 1 回保健管理センター運営委員会 (7月14日)

(審議事項)

- (1) 昭和62年度業務計画(案)について
- (2) 学生相談制度について

昭和62年度第 5 回評議会 (7月17日)

(審議事項)

- (1) 昭和63年度富山大学入学者選抜に関する要項(案)について
- (2) 富山大学国際交流委員会規則の一部改正について

昭和62年度第 2 回国際交流委員会 (7月17日)

(審議事項)

- (1) 富山大学国際交流委員会規則改正(案), 同学術交流部会内規(案)及び同留学生部会内規(案)について

昭和62年度第 4 回事務協議会 (7月27日)

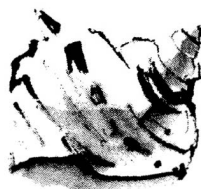
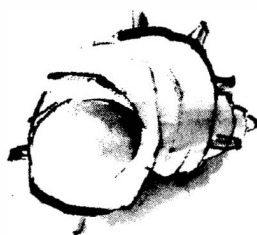
(議 題)

- (1) 当面の諸問題について

第 1 回富山大学廃液処理施設運営委員会 (7月27日)

(議 題)

- (1) 昭和62年度運営費予算(案)について
- (2) 今後の施設運営の問題点等について



学 事

昭和62年度国際研究集会派遣研究員の決定

学 部	職 名	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 期 間	開 催 地 (国 名)
工 学 部	助 教 授	上 羽 弘	第 5 回 固 体 表 面 の 振 動 に 関 す る 国 際 会 議	昭和62年 9 月 6 日 } 昭和62年 9 月 10 日	バイエルン (西ドイツ)

学 術 刊 行 物

1. 不定期学術刊行物

- (1) 誌 名：富山大学トリチウム科学センター研究報告集1981~1985
- (2) 発行日：昭和62年 3 月
- (3) 版    ：B 5 判
- (4) ページ：474ページ

2. 定期刊行物

- (1) 誌 名：富山大学トリチウム科学センター研究報告
- (2) 発行日：昭和62年 3 月 30 日
- (3) 卷 号：第 6 卷 (Vol 6, 1986)
- (4) 版    ：B 5 判
- (5) ページ：87ページ

掲載されている論文は下記のとおりである。

解 説

ゲッターによるトリチウムプロセッシング..... 市村憲司, 渡辺国昭..... 1

論 文

黒鉛による水素同位体の捕獲と再放出 —鉄不純物の影響及び再結合係数—..... 芦田 完, 渡辺国昭..... 25

Zr-V-Fe 合金による実験室規模でのトリチウムガスの供給と回収..... 松山政夫, 三宅 均, 市村憲司, 芦田 完..... 39  
渡辺国昭

制動X線計測によるトリチウムガスの非破壊測定..... 松山政夫, 三宅 均, 芦田 完, 渡辺国昭..... 47  
伍島伸五, 藤田良成, 中谷秀夫

環境同位体から見た南極東クイーンモードランド地域内陸部の氷床堆積環境..... 佐竹 洋, 川田邦夫, 津島 健, 佐藤暢子..... 57

ノ ー ト

赤外分光法による [Co(en)<sub>3</sub>] Cl<sub>3</sub> · 3T<sub>2</sub>O の分解過程..... 金坂 績, 西村裕幸, 金森 寛, 川井清保..... 71  
市村憲司, 渡辺国昭

吸着トリチウムのリアルタイムイメージング(I) —マイクロチャンネルプレートの可能性—..... 市村憲司, 渡辺国昭..... 77

熱焼法による黒鉛中のトリチウム・インベントリーの評価..... 芦田 完, 松山政夫, 渡辺国昭..... 83

◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

◎ 構内での自動車等の運転は，教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法，歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

### 昭和63年度富山大学入学者選抜に関する要項を発表

本学は，昭和63年度富山大学入学者選抜に関する要項を7月17日(金)に次のとおり発表しました。

これによると，昭和62年度との主な相違点は，

- ① 理学部数学科において，共通第1次学力試験の受験を要する教科を，社会を除く4教科としたこと。(なお，他の学部・学科等は昨年度と変更はない。)

- ② 理学部物理学科で帰国子女特別選抜を実施することとしたこと。

- ③ 経済学部昼間主コースにおける推薦入学の募集人員を1名増の19名以内としたこと。

なお，第2次の学力検査等の日程，試験場及び出願手続等の細目を記載した学生募集要項については，本年10月下旬ごろ発表する予定です。

1. 学部・学科等の内容及び入学定員

学部	学科・課程	入学定員	専攻，講座又は学科目	
人文学部	人文学科	95	履修コース 哲学，日本史学，東洋史学，西洋史学，考古学，人文地理学，文化人類学，言語学，文化構造論	
	語学文学科	95		国語国文学，朝鮮語朝鮮文学，中国語中国文学，英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学，ロシア語ロシア文学，比較文学
教育学部	小学校教員養成課程	140	専攻教科 国語，社会，数学，理科，音楽，凶画工作，体育，家庭，教育学，教育心理学	
	中学校教員養成課程	50		国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，家庭，技術，英語
	養護学校教員養成課程	20		特殊教育
	幼稚園教員養成課程	30		幼稚園教育
経済学部	昼コ 間1 主ス	経済学科	144	理論経済学，比較経済論，政策科学，応用経済学
		経営学科	124	経営学，応用経営，管理科学
		経営法学科	102	基礎法，民事法，企業関係法
	夜コ 間1 主ス	経済学科	20	理論経済学，比較経済論，政策科学，応用経済学
		経営学科	20	経営学，応用経営，管理科学
		経営法学科	20	基礎法，民事法，企業関係法
理学部	数学科	43	代数学及び幾何学，解析学，数理統計学，応用解析学及び電子計算機論	
	物理学科	47	固体物理学，量子物理学，結晶物理学，電波物理学，レーザー物理学	
	化学科	43	物理化学，構造化学，分析化学，有機化学，天然物化学	
	生物学科	35	形態学，生理学，細胞生物学，環境生物学	
	地球科学科	32	地殻構造学，地殻進化学，陸水学，雪氷学	
工学部	電気工学科	53	電気理論，電気機器学，電力工学，通信工学，制御工学	
	工業化学科	48	有機工業化学，有機合成化学，無機工業化学，応用物理化学，環境化学	
	金属工学科	43	金属材料学，金属加工学，鉄冶金学，非鉄冶金学	
	機械工学科	53	材料力学，機械力学，流体工学，熱工学，動力熱工学	
	生産機械工学科	43	切削加工，工業計測，塑性加工，制御機器	
	化学工学科	43	反応工学，拡散単位操作，機械の単位操作，輸送現象	
	電子工学科	43	基礎電子工学，応用電子工学，電子素子工学，電子回路工学	
	共通講座	—	応用物理学，応用数学，情報処理	
合	計	1,386		

**2. 入学者選抜方法等，第2次の学力検査実施教科・科目及び共通第1次学力試験の受験を要する教科等**

別表 I・II・IIIのとおり

なお，推薦入学者の選抜方法，帰国子女・社会人等の特別選抜方法については別表IV・V・VI参照のこと。

**3. 学生募集要項（細目）の発表**

募集人員，出願手続・期日，第2次の学力検査等の実施期日，試験場等の細目を記載した学生募集要項は，10月末頃に発表の予定である。

なお，郵送にて募集要項を請求する場合は，本要項の6. 募集要項の請求方法を参照すること。

**4. 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査の配点**

教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	国語	実技検査	小論文	小計	合計
学部(学科・課程)											
人文学部		共通第1次 第2次	200 200	100	200	100	200 200			800 400	1,200
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	共通第1次 第2次	200 200	100	200 200	100	200 200	200		800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (国語，社会，英語) 専攻	共通第1次 第2次	200 400	100	200	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (数学，理科，家庭) 技術専攻	共通第1次 第2次	200	100	200 400	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (音楽，美術， 保健体育専攻)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200	400		800 400	1,200
	経済学科，経営学科 経営法学科 (昼間主コース)	共通第1次 第2次	100	50	100 300	50	100 300			400 300	700
経済学部	経済学科，経営学科 経営法学科 (夜間主コース)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200			800	800
理学部	数 学 科	共通第1次 第2次	200		200 400	100	200			700 400	1,100
	物 理 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 400	200			800 600	1,400
	化 学 科 地 球 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 200	200			800 400	1,200
	生 物 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200	100 400	200		400	800 800	1,600
工学部		共通第1次 第2次	100		100 200	100 200	100			400 400	800

**5. 定員一部留保第2次募集の配点**

学部・学科	共通第1次学力試験					第2次の 学力検査	合 計
	国語	社会	数学	理科	外国語		
理学部物理学科	200点	100点	400点	200点	200点		1,100点

別 表 I

昭和63年度富山大学入学者選抜方法等

選抜方法等  学部・学科名		第 2 次 の 学 力 検 査 等						推 薦				
		第 2 次 の学力 検査を 課する	実技検査等			2 段 階 選 抜			入学定員の一部について，出身 学力検査を免除し調査書を主な			
			実技検査 を課する	面 接 を行う	小論文 を課す る	主として，調査 書の内容と共通 第 1 次学力試験 の成績により第 1 段階の選抜を 行い，その合格 者について更に 必要な検査等 を行う	第 1 段階の選抜 による合格者数		第 2 次学力 検査を免除し， 共通第 1 次学力 試験を課する	第 2 次学力 検査を免除し， 共通第 1 次学力 試験をも免除 する	実 技検査を課 す	
人 文 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (国語，社会，数学， 理科，家庭，技術， 英語専攻)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (音楽，美術， 保健体育専攻)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
経 済 学 部	経済学科，経営学科 経営法学科 (昼間主コース)	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
	経済学科，経営学科 経営法学科 (夜間主コース)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
理 学 部	数 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	物 理 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	化 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	地 球 科 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	生 物 学 科	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
工 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

- 備 考
1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
  2. 理学部物理学科の定員一部留保第2次募集では，第2次の学力検査は行わず，共通第1次学力試験，調査書及び健康診断を総合して判定する。
  3. 欠員の補充の方法等は，10月末頃に発表予定の学生募集要項に記載する。



入 学			推薦入学 募集人員 (又は比率)	帰国子女, 社会人の ための特 別の選抜		定員一部留保第2次募集					第2次の 学力検査 等の日程	備 考 〔欠員の補充 の方法等〕
学校長の推薦に基づき, 資料として判定する						入学定員の一部についてあらかじめこれを 留保し, これについて第2次募集を行う						
技 検 査 等						第2次 の学力 検査を 課する	実 技 検 査 等			第2次 募集人 員 (又 は比率)		
面 接 を 行 う	小論文 を課す る	その他					実技検 査を課 する	面 接 を 行 う	小論文 を課す る			
			帰 国 子 女	社会人								
×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	3月5日(土)	(下記参照)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月5日(土) 3月6日(日)	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
○	○	×	19名以内	○	×	×	×	×	×	×	3月5日(土)	
○	○	×	20名程度	×	○	×	×	×	×	×	—	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	12名		
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	3月5日(土)	
×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

別 表 II

昭和63年度富山大学入学者選抜学力検査実施教科・科目

学部(学科・課程)名 科目数等 出題教科・科目名		教 育 学 部												経済学部 (昼間主コース)									
		人文学部		小学校教員養成課程		中学校教員養成課程		中学校教員養成課程		中学校教員養成課程													
		出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数										
国 語	国 語 I	◎	2	○	2	○	2		2		2												
	国 語 II	◎		○		○																	
数 学	代 数・幾 何			○	2 (3教科(国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)	2又は1 (2教科(数学は2科目・外国語は英語1科目・ドイツ語1科目のうちから1教科を選択)							
	基 礎 解 析		○																				
	代 数・幾 何			○																			
	基 礎 解 析			○																			
	微 分・積 分																						
	確 率・統 計																						
理 科	物 理				1教科を選択		1教科を選択		1教科を選択		1教科を選択		1教科を選択		1教科を選択								
	化 学																						
	生 物																						
	地 学																						
外 国 語	英 語 II	○	英語は2その他は1	○	1教科を選択	○	1教科を選択	○	1教科を選択	○	1教科を選択	○	1教科を選択	○	1教科を選択	1教科を選択							
	英 語 II B	○		○		○		○		○		○		○									
	ド イ ツ 語	○																					
	朝 鮮 語	○																					
	中 国 語	○																					
	ロ シ ア 語	○																					
芸 術 健 育 保 体	音 楽 実 技			○	1		1		1	◎	1 志望専攻1科目		1		1								
	美 術 実 技			○																			
	体 育 実 技			○																			
小 論 文																							
合 計		8	4又は3	9	3	4	2	4	2	1	1	5	2又は1										

備考 1. ◎は必ず受験しなければならない科目を, ○は選択科目を示す。

2. 教育学部の実技検査の内容

(1) 小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程

音 楽 ① 楽器又は歌唱による自由曲演奏

楽器は和楽器を除く, 管・弦・鍵盤楽器いずれも可

歌唱は音楽I程度までの歌曲

② 音楽能力検査

音楽Iの程度までの範囲

美 術 描写力検査(平面)及び表現力検査(立体)を行う。



富 山 大 学

昭和63年度 共通第1次学力試験の受験を要する教科等

受験を要する 教科名等		受験を要する教科名	受験を要する教科数	摘 要	そ の 他
学部・学科名					
人 教 経	文 学 部	国, 社, 数, 理及び外	5		共通第1次学力試験の配点については, 本要項2ページを参照のこと。
	育 学 部				
	済 学 部				
理 学 部	物 理 学 科	国, 社, 数, 理及び外	5		
	化 学 科				
	生 物 学 科				
	地 球 学 科				
	数 学 科	国, 数, 理及び外	4		
工 学 部		国, 数, 理及び外	4		

## 別 表 IV

## 推 薦 入 学 者 の 選 抜 方 法

実施学部・ 学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科	
	昼 間 主 コ ー ス	夜 間 主 コ ー ス
募集人員	19名以内	20名程度
選 抜 期 日	昭 和 62 年 12 月 9 日 ( 水 )	昭 和 62 年 12 月 6 日 ( 日 )
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。</p> <p>なお、小論文作成のための資料には英文が含まれる。</p>	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。</p>
出 願 期 間	<p>昭和62年11月16日 ( 月 )</p> <p>↓</p> <p>昭和62年11月21日 ( 土 )</p>	<p>昭和62年11月16日 ( 月 )</p> <p>↓</p> <p>昭和62年11月21日 ( 土 )</p>
出 願 資 格	<p>高等学校の専門教育を主とする学科（いわゆる職業科）を昭和63年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者。</p> <p>(1) 人物、学力、健康において優れ、かつ、 勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者。</p> <p>(2) 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者。</p>	<p>高等学校を昭和63年3月卒業見込みの就職内定者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、 勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者。</p>
そ の 他	推薦人員は1高等学校につき2名以内。	

## 別 表 V - 1

## 帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和62年12月9日（水）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断により行う。</p> <p>なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行う。</p>
出 願 期 間	<p>昭和62年11月16日（月）</p> <p>）</p> <p>昭和62年11月21日（土）</p>
出 願 資 格	<p>日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を昭和61年（1986年）4月1日から昭和63年（1988年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。</p> <p>ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。</p> <p>なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和61年（1986年）及び昭和62年（1987年）に授与された18歳以上の者。</p>
そ の 他	

## 別 表 V - 2

## 帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科 「昼間主コース」
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和62年12月9日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	昭和62年11月16日（月） ） 昭和62年11月21日（土）
出 願 資 格	日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を昭和61年（1986年）4月1日から昭和63年（1988年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。 ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和61年（1986年）及び昭和62年（1987年）に授与された18歳以上の者。
そ の 他	





## 別 表 VI - 1

## 社会人等の特別選抜方法

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和62年12月9日（水）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験を免除し、書類審査、外国語、小論文、面接及び健康診断により行う。</p> <p>なお、外国語は「英語・ドイツ語・朝鮮語・中国語・ロシア語」の中から1科目選択すること。</p>
出 願 期 間	<p>昭和62年11月16日（月）</p> <p>）</p> <p>昭和62年11月21日（土）</p>
出 願 資 格	<p>昭和63年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 大学入学資格検定試験合格者</p> <p>(4) 旧制諸学校の卒業生または中途退学者で、文部大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者</p> <p>ただし、定職をもち、定時制・通信制の高等学校に在学した期間は、社会人の経験期間に含める。</p>
そ の 他	

## 別 表 VI - 2

## 社会人等の特別選抜方法

実施学部・学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科 「夜間主コース」
募 集 人 員	20名程度（定員内）
選 抜 期 日	昭和62年12月6日（日）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	昭和62年11月16日（月） ） 昭和62年11月21日（土）
出 願 資 格	大学入学資格を有し、かつ次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。 (1) 勤労者については、高等学校を昭和62年3月以前に卒業した者及びこれに準ずる者。又は、昭和63年3月に高等学校の定時制又は通信制課程を卒業見込みの者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、職場長の推薦する者。 (2) その他の社会人については、高等学校を卒業した者及びこれに準ずる者で、昭和63年3月31日現在年齢満23歳に達している者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、出身学校長等の推薦する者。
そ の 他	





## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	赤阪 賢	フランス, マリ, ブルキナファソ, 象牙海岸, ザイール	アフリカにおける都市化の総合比較調査	62. 7. 1 } 62. 11. 1
	教養部	助教授	溝口 常俊	インド バングラデシュ シンガポール	インド亜大陸農村における市とそれをめぐる商人集団の研究(第2次本調査)	62. 7. 7 } 62. 9. 10
	理学部	助教授	田口 茂	カナダ	水中の微量成分の定量に関する共同研究のため	62. 7. 10 } 62. 9. 9
	理学部	教授	菅井 道三	西ドイツ	・国際コケ植物集會に出席及び資料収集 ・国際植物学会及び国際シダ植物集會に出席, 発表	62. 7. 15 } 62. 8. 10
	教養部	教授	藤井 昭二	カナダ アメリカ合衆国	第12回国際第四紀学会(INQUA12)及び国際地質対比計画200(IGCP-200)に参加並びにワシントンにおける資料収集	62. 7. 18 } 62. 8. 25
	教養部	助教授	竹内 章	ミクロネシア連邦 (ヤップ)	北西太平洋海溝系の地質学・地球物理学的研究	62. 7. 29 } 62. 8. 13
	教育学部	教授	田中 普	中華人民共和国	内蒙古草原地域の生物生産と環境保全に関する総合調査	62. 7. 30 } 62. 8. 25
海外研修旅行	教養部	教授	中越 矩方	カナダ	国際整数論研究会に出席	62. 7. 4 } 62. 7. 22
	教養部	助教授	湯川 純幸	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校英語教育学部にて外国語でのコミュニケーションの研究に従事	62. 7. 27 } 63. 9. 10
	理学部	教授	広岡 公夫	アメリカ合衆国 カナダ	第4回太平洋新第三紀層序学国際会議及び第19回国際測地学地球物理学連合総會に出席	62. 7. 28 } 62. 8. 21

## 昭和62年度文部省北陸地区共同事業体育大会

昭和62年度の文部省北陸地区共同事業体育大会が、去る7月24日(金)に福井大学の当番で、会場は福井県営体育館にて開催された。

本年度の競技は、バドミントン、硬式卓球の2種目が行われ、本学からは2種目あわせて32名の選手が参加した。

例年より長びく梅雨にもかかわらず、当日は快晴となり絶好のスポーツ日和のもと熱戦が繰り広げられ、本学はバドミントンの部で健闘し、3位入賞を果すと共に、共同事業の目的である健康の増進と職員相互の親睦も十分満たされたものと思われる。

なお成績等詳細は次のとおりです。

組 合 表

バドミントン

1. 予選リーグ

Aゾーン

チーム名	石川高専	高岡短大	富山大A	富山商船	金沢大C	順 位
石川高専		1 - 2	0 - 3	1 - 2	0 - 3	5
高岡短大	2 - 1		1 - 2	2 - 1	1 - 2	3
富山大A	3 - 0	2 - 1		3 - 0	2 - 1	1
富山商船	2 - 1	1 - 2	0 - 3		1 - 2	4
金沢大C	3 - 0	2 - 1	1 - 2	2 - 1		2

Bゾーン

チーム名	福井高専	福井大A	富医薬大A	福医大A	順 位
福井高専		0 - 3	0 - 3	2 - 1	3
福井大A	3 - 0		3 - 0	2 - 1	1
富医薬大A	3 - 0	0 - 3		2 - 1	2
福医大A	1 - 2	1 - 2	1 - 2		4

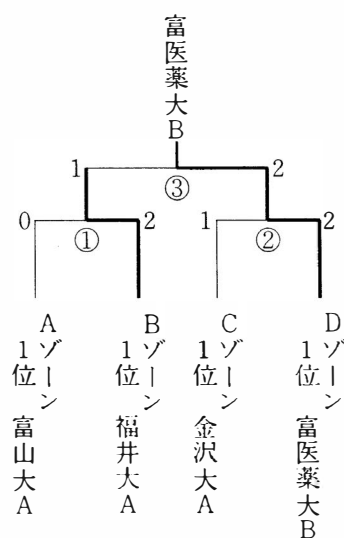
Cゾーン

チーム名	福医大B	富山高専	金沢大A	能登青年	順 位
福医大B		1 - 2	0 - 3	0 - 3	4
富山高専	2 - 1		0 - 3	1 - 2	3
金沢大A	3 - 0	3 - 0		3 - 0	1
能登青年	3 - 0	2 - 1	0 - 3		2

Dゾーン

チーム名	富医薬大B	福井大B	富山大B	金沢大B	順 位
富医薬大B		3 - 0	3 - 0	2 - 1	1
福井大B	0 - 3		0 - 3	0 - 3	4
富山大B	0 - 3	3 - 0		1 - 2	3
金沢大B	1 - 2	3 - 0	2 - 1		2

2. 決勝トーナメント



組 合 表

硬式卓球

1. 予選リーグ

Aゾーン

チーム名	富山大A	高岡短大	福医大A	福井大A	若狭湾	順 位
富山大A		3 - 1	0 - 3	3 - 2	3 - 0	2
高岡短大	1 - 3		0 - 3	1 - 3	3 - 1	4
福医大A	3 - 0	3 - 0		3 - 0	3 - 0	1
福井大A	2 - 3	3 - 1	0 - 3		3 - 0	3
若狭湾	0 - 3	1 - 3	0 - 3	0 - 3		5

Bゾーン

チーム名	金沢大C	石川高専	富山商船	富医薬大A	順位
金沢大C	/	3 - 0	3 - 0	1 - 3	2
石川高専	0 - 3	/	3 - 1	1 - 3	3
富山商船	0 - 3	1 - 3	/	1 - 3	4
富医薬大A	3 - 1	3 - 1	3 - 1	/	1

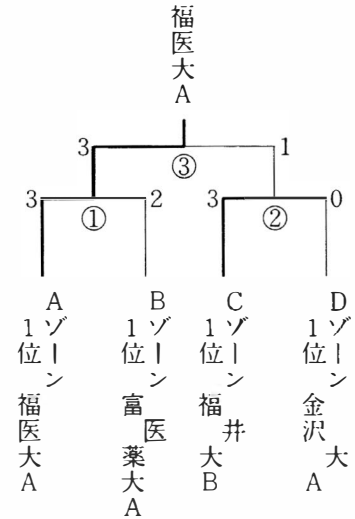
Cゾーン

チーム名	富山高専	福井大B	金沢大B	富山大B	順位
富山高専	/	0 - 3	1 - 3	1 - 3	4
福井大B	0 - 3	/	3 - 2	3 - 0	1
金沢大B	3 - 1	2 - 3	/	2 - 3	3
富山大B	3 - 1	0 - 3	3 - 2	/	2

Dゾーン

チーム名	福井高専	金沢大A	富医薬大B	福医大B	順位
福井高専	/	1 - 3	3 - 2	3 - 2	2
金沢大A	3 - 1	/	3 - 1	3 - 1	1
富医薬大B	2 - 3	1 - 3	/	3 - 2	3
福医大B	2 - 3	1 - 3	2 - 3	/	4

2. 決勝トーナメント



学内レクリエーション〈ソフトボール大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会ソフトボール班主催による昭和62年度部局対抗ソフトボール大会が、去る6月15日(月)から7月16日(木)までの間富山大学野球場で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

優勝 工学部  
次勝 教養部

予選リーグ

Aブロック

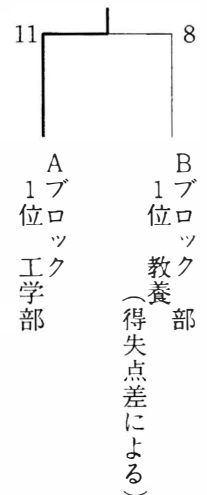
	工学部	経済学部 附属図書館	教育学部	施設課 学生部	勝敗
工学部	/	○	○	○	3勝
経済学部 附属図書館	×	/	×	○	1勝2敗
教育学部	×	○	/	○	2勝1敗
施設課 学生部	×	×	×	/	3敗

Bブロック

	庶務部	教養部	経理部	理学部	人文学部	勝敗
庶務部	/	○	×	×	○	2勝2敗
教養部	×	/	○	○	×	2勝2敗
経理部	○	×	/	○	×	2勝2敗
理学部	○	×	×	/	○	2勝2敗
人文学部	×	○	○	×	/	2勝2敗

決勝戦

優勝  
工学部



## 〈釣 大 会〉

本学レクリエーション委員会倶楽部会釣班主催による昭和62年度学内釣大会が、去る7月25日(土)午後1時30分から新湊東防波堤において実施されました。

大会は、釣り上げた魚の総重量により入賞が決定された。なお、成績は次のとおりです。

入賞者

一位 二宮 英治 (工学部)  
 二位 福山 浩 (施設課)  
 三位 西尾 武 (経済学部)

## 昭和62年度富山大学公開講座の実施について

## ——健康・スポーツ教室——

市民のスポーツに対する関心を高め普及するため、ジョギング、バドミントン、硬式テニスを選んで、それぞれ専門的な理論、実技の指導を行う。

(講座の名称) 健康・スポーツ教室

(開設コース・募集人員・受講対象等)

開設コース名	募集人員	受講対象者	備 考
ジョギングコース	20名	一般男女	
バドミントンコース	20名	一般男女(初心者)	ラケットは貸出可
硬式テニスコース	15名	婦 人(初心者)	先着順

(開設期間)

- ・ジョギングコース 昭和62年8月21日(金)～9月7日(月)の下記日程の9日間
- ・バドミントンコース 昭和62年9月24日(木)～10月2日(金)の下記日程の7日間
- ・硬式テニスコース 昭和62年12月24日(木)～12月27日(日)の下記日程の4日間

(日程・開講時間)

コース	月日	8/21(金)	24(月)	26(水)	28(金)	31(月)	9/2(水)	4(金)	5(土)	7(月)
ジョギングコース		18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	16:00～ 20:00 4時間	18:00～ 20:00 2時間

コース	月日	9/24(木)	25(金)	28(月)	29(火)	30(水)	10/1(木)	2(金)
バドミントンコース		9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～11:00 2時間

コース	月日	12/24(木)	25(金)	26(土)	27(日)
硬式テニスコース		9:30～13:30 4時間	9:30～13:30 4時間	9:30～13:30 4時間	9:30～12:30 3時間

(会 場) ・ジョギングコース 富山大学第1体育館他  
 ・バドミントンコース 富山大学第3体育館  
 ・硬式テニスコース 富山大学第1体育館



- (受講料) ・ジョギングコース 3,600円 } (ただし、受講料の分納はできません。なお、既納の  
 ・バドミントンコース 3,600円 } 受講料は還付しません。)  
 ・硬式テニスコース 3,000円 }
- (申込方法) 下記の受講申込書に記入のうえ、受講料を添えて直接大学へ持参されるか、現金書留で郵送して下さい。
- (申込期間) ・ジョギングコース 昭和62年8月1日～8月20日  
 ・バドミントンコース " ～9月23日  
 ・硬式テニスコース " ～12月23日
- (申込み・問合せ先) 〒930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで ☎(0764)41-1271(内線205, 206)
- (講座内容)

## 【ジョギングコース】 教育学部教授 山地啓司

ウォーミングアップの方法、トレーニング方法とスケジュールの作り方、走り方、コースの選定法、シューズの選び方、レースへの参加と準備の進め方等について

## 【バドミントンコース】 教養部教授 福田明夫 教育学部助教授 西川友之

バドミントンを始めるための知識、フライントと基本ストローク、構えとフットワーク、ゲームの進め方と審判、勝つための戦法、トレーニングとプログラム

## 【硬式テニスコース】 教育学部助教授 山下三郎 教養部助教授 北村潔和

体力診断及び体力増進法、ストロボ等による技術診断、実技では各種ストローク、サーブ、ボレー、スマッシュ等の基礎技術とゲームの進め方について

## ——現代を考える——

時の流れは過去、現代、未来と続く1次元1方向性のものであるという捉え方がある。私達が未来をより有意義に生きてゆくために過去を踏まえて、人文科学・自然科学の両面から多角的に現代について考える。

- (講座の名称) 現代を考える
- (開設期間) 昭和62年9月25日(金)～10月17日(土)
- (開設日数・時間帯) 11日間、午後6時～午後8時  
 (ただし、9月26日(土)は午後1時30分～3時30分と午後3時40分～5時40分、  
 10月17日(土)は午後2時～4時)
- (募集人員) 一般成人 70名
- (会場) 富山大学工学部106大講義室
- (受講料) 4,200円(受講料の分納はできません。なお、既納の受講料は還付しません。)
- (申込方法) 下記の受講申込書に記入のうえ、受講料を添えて直接大学へ持参されるか、現金書留で郵送して下さい。
- (申込期間) 昭和62年8月1日～9月24日
- (申込み・問合せ先) 〒930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで ☎(0764)41-1271(内線205, 206)
- (講座内容)

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所属・職名
1	9月25日(金)	生命と現代社会	小黒千足	理学部教授
2	26日(土)	食文化の変遷 一鮓を中心として一	中川 眸	教育学部教授
3	26日(土)	伝染病との闘いの後を顧みて	柳田友道	富山大学名誉教授
4	28日(月)	ロシア文学と現代	矢澤英一	人文学部助教授

5	30日(水)	リスクの保障と予防(リスクマネジメントの思潮)	武井 勲	経済学部 助教授
6	10月2日(金)	“学生の訴え”から	中村 剛	保健管理センター教授
7	10月5日(月)	超伝導物性研究の動向	森 克徳	教養部 教授
8	7日(水)	素粒子と宇宙	松本 賢一	理学部 教授
9	9日(金)	公共部門の成長 —その要因と限界—	古田 俊吉	経済学部 助教授
10	12日(月)	“粉”を科学する	杉本 益規	工学部 教授
11	14日(水)	アフリカから現代を考える	富川 盛道	人文学部 教授
12	17日(土)	半導体物性研究の新しい動向	龍山 智榮	工学部 教授

## ——高齡化社会を考える——

近い将来、5人に1人が老人という「高齡化社会」を迎えようとしている。その中で、誰もが「安定したゆとりのある老後の生活」を望んでいるにもかかわらず、健康はもとより、年金・保険制度の改正や核家族化の進行などによって、老後の生活に不安を抱いている。誰も避けて通ることの出来ないこの老後の生活という問題を、さまざまな角度から考察する。

(講座の名称) 高齡化社会を考える

(開設期間) 昭和62年10月19日(月)～11月9日(月)

(開設日数及び時間帯) 10日間、午後6時～午後8時

(募集人員) 一般成人 70名

(会場) 富山大学経済学部101番教室

(受講料) 3,600円(受講料の分納はできません。なお、既納の受講料は還付しません。)

(申込方法) 下記の受講申込書に記入のうえ、受講料を添えて直接大学へ持参されるか、現金書留で郵送して下さい。

(申込期間) 昭和62年8月1日～10月18日

(申込み・問合せ先) 〒930 富山市五福3,190

富山大学庶務部庶務課まで ☎(0764)41-1271 (内線205, 206)

(講座内容)

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月19日(月)	高齡化社会の現状と課題・定年制と雇用問題	竹川 慎吾	経済学部 助教授
2	21日(水)	今後の経済動向と老後の生活	丹羽 昇	経済学部 助教授
3	23日(金)	老年医学と生活	浅井 亨	人文学部 教授
4	26日(月)	老人と家族関係	神川 康子	教育学部 講師
5	28日(水)	フランス文学に見られる老人の生き方	勝野 良一	教養部 教授
6	30日(金)	年金制度と老齡生活	山崎 清	経済学部 教授
7	11月2日(月)	健康生活と運動	河野 信弘	保健管理センター所長 教育学部 教授
8	4日(水)	高齡者と家族の法律問題	松嶋 道夫	経済学部 教授
9	6日(金)	高齡化社会と年金制度	山崎 清	経済学部 教授
10	9日(月)	今後における高齡化社会の課題と展望	中藤 康俊	経済学部 教授

## 黒田講堂の全面改築について

黒田講堂は、事務用品、事務機器の総合トップメーカーであるコクヨ(株)の創始者で富山市(鉄砲町)出身の故黒田善太郎氏の寄附により昭和32年10月に建てられ、30年間富山大学のシンボルとして親しまれてきましたが、学生数の増加で狭くなった上、老朽化が進んできました。このたび善太郎氏の長男で同社長の黒田暉

之助氏から黒田家が「故郷、富山の教育振興に熱心だった先代が建てた講堂が傷んでいるのを見るのは忍びない」と、私財6億円の寄附の申し出があり、新制大学が発足40周年に当る昭和64年10月完成を旨とし施設整備委員会黒田講堂改築専門部会で内容の検討を進めていくことになりました。

## 健康診断のお知らせ

次のとおり健康診断が実施されますのでお知らせします。

なお、実施月日については、都合により変更する場合がありますので掲示等に注意してください。

検診項目	実施月日	場 所	対 象 者
胃 の 検 査 肝機能の検査	9月16日(木) 9月17日(木) 9月21日(日) 9月22日(火)	保健管理センター	40才以上の職員
循環器の検査 (心電図, 血圧)	10月19日(日) 10月20日(火) 10月22日(木) 10月23日(金)		35才以上の職員
婦人科検診 (子宮がん)	1月29日(金)		35才以上の女子職員

## 寄 稿

### 〈アメリカからみた日本の教育〉

教育学部助教授 山野井 敦 徳

何分にも、はじめての海外留学の体験をする私が、柄にもなく「欧米における日本研究の動向」という国際的テーマの一つを種々の事情から選んでしまったわけですが、ほんとうに多くの方々の親切なご指導によりまして、アメリカ、カナダ、連合王国、フランス、西ドイツ、イタリアの主だった日本研究センターを訪

ねることができました。ここでは、取り急ぎアメリカでの日本の教育研究の様子について、ほんの一端をお話し申し上げることでお許しをお願いできればと存じます。

私の日本研究センターの訪問は、ニューヨーク州立大学バッファロー校をベース・キャンプとしてはじま

りました。この大学はアメリカでは決して名門大学とはいえませんが、大規模な日本研究機関を附設しているわけでもありません。留学先のベース・キャンプとしてこの大学を選んだ理由は、ただ日本の教育学界との交流も深く、我が国の教育事情に詳しいジャパン・スペシャリストのお一人でもあるフィリップ・アルトバック教授（比較教育センター長）がおられたからです。夫人は日系二世の方で、教授ご自身も各国の学生運動に関心をもたれ、インドの学生運動の研究で学位をとられた一方、日本の学生運動に関しては、我が国の大学紛争が頂点に達したころ、例の東大の安田講堂に自ら乗り込んで全共闘の学生達にインタビューを試みたといわれる逸話の持主です。これらの成果の一つは『世界の学生運動』（東大出版会）として我が国でも紹介されています。

ところで、アメリカにおける日本の教育に関する専門家の数は、決して多くはありません。ある資料によりますと約60名ぐらリスト・アップされていますが、厳密に定義しますと20名前後だといわれています。日本研究センターの他にいくつかの日本研究学会に参加してみましたが、このような事情にもかかわらず、日本の教育への関心は一種のブームといえるほど大変なものでした。たとえば、この春ワシントンで開催された比較教育学会では、日本の教育に関する研究発表も多く、分科会も三つぐらい設けられていました。私の知人の一人であるウィリアム・カミングス氏（ハーヴァード大学）は、日本の教育に関する権威の一人で、学会では我が国の科学＝技術政策を発表されていましたが、どの日本の分科会でもリーダー的役割を演じ、ひっぱりだこといった感じでした。氏は、すでに『日本の大学教授』（至誠堂）や『ニッポンの学校』（サイマル出版）などで我が国でも著名な方です。今春、



ニューヨーク州立バッファロー校の一角

日本の教育に関するアメリカ政府の報告書が出されましたが、氏はその中心的役割を果たした人です。この報告書作成のために調査団の代表として来日されたラトガーズ大学のノブオ・シマハラ教授も、アメリカにおける代表的な日本研究者のお一人です。氏は、とくに文化人類学的手法によって日本の教育の風土、人間関係、文化といった視点から日本の教育の研究を進められ、2・3年前に一書をものしておられます。私のおたずねたラトガーズ大学は、我が国とのつながりが深く、明治初期以来、数多くの日本留学生が滞在したところで、明治期の日本の教育政策に多大の影響を及ぼしたグリフィスの母校でもあります。その関係もあって、この大学にはグリフィス文庫が設けられ、日本の教育研究に一役買っています。文庫といえば、メリーランド大学のアメリカ占領下における我が国の膨大な出版物も印象的でした。残念ながら、まだほとんど研究されておらず、研究の宝庫として眠ったままです。シカゴ大学では、アンダーソン＝ボーマン教授ご夫妻に再会いたしましたが、ともにご健在でご高齢でもなお第一線でご活躍中です。比較教育学会では、こうした方々の他に、お雇い外人の研究、デューイ思想の日本導入過程研究、さらに最近では日本の教育改革の研究などで我が国と深い交流をもっておられるポーシャン教授（ハワイ大学）にもお会いする機会がありました。

日本に関する教育研究がしだいに盛んになってきましたのも、我が国の経済力と深くかかわっています。直截なアメリカの研究者の多くは、その社会的背景の解明に関心をいただき、日本の経済発展の要因の一つは、その教育水準の高さにあると判断しているからに他なりません。今まで外国が手本であった我が国にとって、これからは外国から日本が教科書にされる時代が、良かれ悪かれこようとしている感じがします。それはアメリカの各種の教育レポートにみることができます。最近では、アメリカの初等・中等教育の学力レベルが下がるにつれて、学校教育ばかりでなく、家庭教育に関しても、メリー・ホワイト教授（ハーヴァード大学）のように、アメリカの母親は日本の教育ママに学べという主張さえしておられます。多かれ少なかれ、外国における日本の教育のイメージは、こうしたジャパン・スペシャリストによって形成されているのです。

しかし、海外で高い評価を受けている日本の教育水準も、先のアメリカの教育レポートにみられるように高等教育は例外で、大学人としては耳の痛い話です。

中等教育にしても、スタンフォード大学には日本の高校研究でパークレイ出版賞を受賞したローレン氏がありますが、氏は我が国の高校教育の水準を高く評価しながらも、自らは日本の教育を受けたいとは思わないとまで言い切っています。いずれにしましても、我が国の教育に関する実像と虚像が、これから一段と深く海外の研究者たちによって研究されようとしている印象を強くもちました。

▶ 筆者は、文部省長期在外研究員（甲種）として、昭和61年9月2日から昭和62年6月30日まで10か月間「欧米における日本研究の動向」のため、アメリカ合衆国を主たる滞在地としてカナダとヨーロッパ4か国へ出張されましたので、特に寄稿を御依頼したものです。

## 職 員 消 息

### 〈住所変更〉

#### 人文学部

教 授 川本榮一郎

文部事務官 中川 巖

## 主 要 行 事

### 本 部

7月1日 入学試験管理委員会専門委員会  
 2日 健康相談(眼科)  
 富山大学事務改善委員会第3部会  
 3日 公開講座委員会  
 部課長会議  
 事務協議会  
 第2回相互乗入れ等検討委員会  
 6日 第2回学園ニュース編集委員会  
 8日 金沢大学辰口共同研修センター運営協議会  
 8～9日 昭和62年度厚生補導研究協議会  
 10日 第2回大学院委員会  
 第4回総合大学院検討委員会  
 構内交通対策委員会  
 12日 第39回北陸地区国立大学体育大会(開会式)  
 13～14日 昭和63年度概算要求説明

14日 第3回富山大学情報処理センター運営委員会  
 第4回入学試験管理委員会・第3回入学者  
 選抜方法研究委員会の合同委員会  
 第1回保健管理センター運営協議会  
 17日 第5回評議会  
 第2回国際交流委員会  
 昭和62年度大学入学者選抜・教務関係事項  
 連絡協議会  
 22日 第14回保健婦・看護婦班研究集会  
 23～24日 第25回全国大学保健管理研究集会東海・北  
 陸地方研究集会  
 24日 昭和62年度文部省北陸地区共同事業体育大  
 会(於:福井)  
 27日 第4回事務協議会  
 第1回富山大学廃液処理施設運営委員会  
 第2回学務関係係長会議  
 28日 第1回レクリエーション委員会  
 第1回黒田講堂改築専門部会

30日 庶務係長会議

**人 文 学 部**

- 7月1日 教授会  
 8日 特別昇給委員会  
 予算委員会  
 11日 授業終了  
 13~18日 集中講義指定期間  
 14日 紀要委員会  
 15日 次期学部補導委員会委員打合せ  
 教授会  
 人事教授会  
 17日 学部施設委員会  
 旅順博物館副館長蘇小幸氏の特別講演  
 事務連絡会

**教 育 学 部**

- 7月8日 学部補導委員会  
 学部教務委員会  
 学部図書委員会  
 学部特別昇給検討委員会  
 14日 学部予算委員会  
 附属小学校第1学期終業式  
 15日 教授会  
 人事教授会  
 18日 附属中学校、附属幼稚園第1学期終業式  
 20日 附属養護学校第1学期終業式  
 22日 入学者選抜方法検討委員会  
 教授会  
 23日 夏季休業（～8月30日まで）  
 24日 学部予算委員会  
 29~31日 富山大学教育学部公開講座  
 （於：附属教育実践研究指導センター）  
 30~31日 幼稚園教育研究集会（於：鳥取市）

**経 済 学 部**

- 7月1日 夜間主コース運営委員会  
 2日 学部施設整備委員会（持ち回り）

- 3日 学部教務委員会（持ち回り）  
 7日 学部補導委員会  
 助手室業務運営委員会  
 8日 財務委員会  
 日本海経済研究所運営委員会  
 改組経過報告書作成委員会  
 10日 コンピュータ管理運営委員会  
 13日 学部将来構想検討委員会  
 15日 学部教務委員会  
 人事教授会  
 日本海経済研究所所員会議  
 教授会  
 16日 教授会  
 17日 経済学部及び教養部教務委員会委員の合同  
 会議  
 22日 教授会

**理 学 部**

- 7月1日 ガラス工作室運営委員会  
 3日 学部教務委員会  
 9日 学科主任会議  
 10日 次期学部補導委員会委員打合せ  
 11日 授業終了  
 13~18日 物理学基礎実験  
 15日 学科主任会議  
 16日 教授会  
 人事教授会  
 17日 事務連絡会

**工 学 部**

- 7月7日 係長連絡会  
 8日 工学研究科委員会  
 専任教授会  
 14日 授業終了  
 15日 紀要委員会  
 学科主任会議  
 17日 学部教務委員会  
 18日 選考委員会  
 20日 北陸信越工業教育協会富山県支部評議員会  
 並びに総会

22日 教授会  
27日 学部改革検討委員会

14日 第1回保健管理センター運営委員会  
15日 胸部X線要精検者直接撮影写真判定  
22日 第14回保健婦・看護婦班研究集会  
(於：名古屋三の丸会館)  
23日 胸部X線要精検者直接撮影写真判定  
23～24日 第25回全国大学保健管理研究集会東海・北  
陸地方研究集会(於：名古屋三の丸会館)

### 教 養 部

7月1日 教務委員会  
予算委員会  
3日 特昇その他給与に関する委員会  
8日 教務委員会  
人事教授会  
教授会  
9日 視聴覚教育委員会  
15日 夏季休業  
予算委員会  
補導委員会  
16日 将来計画委員会

### トリチウム科学センター

7月10日 昭和62年度第3回富山大学トリチウム科学  
センター運営委員会  
(於：トリチウム科学センター会議室)  
28日 特別健康診断(於：富山市民病院)

### 地域共同研究センター

7月16日 地域共同研究センター運営委員会

### 附属図書館

7月  
1～2日 第34回国立大学図書館協議会総会  
(於：群馬県草津町，ホテルホワイトタウ  
ン)  
14日 電算化小ワーキンググループ打合せ会  
16日 電算化ワーキンググループと富士通S Eと  
の打合せ会  
係長事務打合せ会  
20日～ 昭和62年度大学図書館職員長期研修  
(於：図書館情報大学)(8月8日まで)  
24日 第2回商議会  
28日 係長事務打合せ会

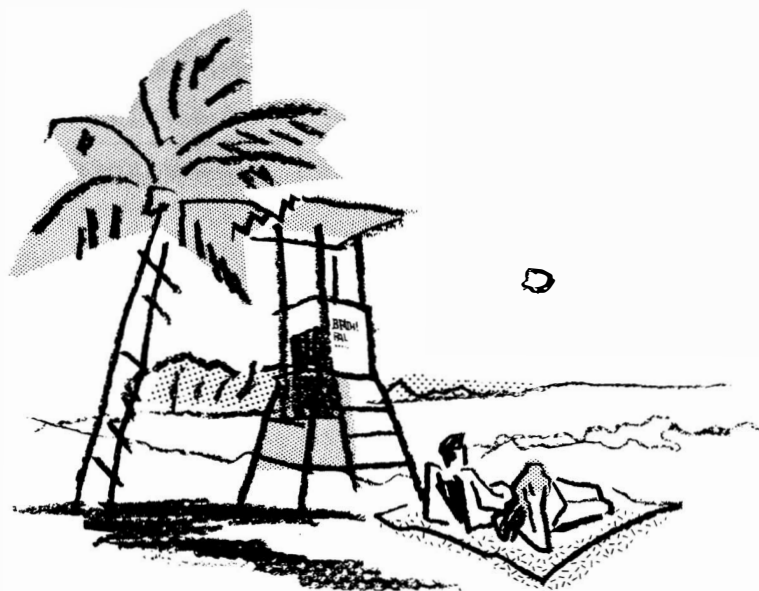
### 経営短期大学部

7月2日 閉学式準備委員会  
財務委員会  
9日 あゆみ編集委員会  
教授会

### 保健管理センター

7月1日 健康診断(色覚一人文学部生)  
健康診断(内科一各学部及び教養部生，大  
学院生の要精検者)  
2日 健康診断(眼科一各学部及び教養部生，大  
学院生，専攻科生の希望者)  
6日 健康診断(理学部の臨海実習参加者)  
8日 胸部X線要精検者直接撮影写真判定





編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190
印刷所	あけぼの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話 (24) 1755(代)